

教育学部の3つのポリシー 【 学士(教育学) 】

<p style="text-align: center;">大学の目的 (学則 第3条)</p> <p>本学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与することを目的とする。</p>	<p style="text-align: center;">学部(学科)の教育研究上の目的 (学部規則等から抜粋)</p> <p>本学部は、豊かな人間性と社会性、教育への情熱と使命感を持ち、教科や教職に関する専門知識と技能を身に付け、新たな教育的課題に適切に対応できる実践力のある教育人材を養成することを目的とする。</p>	
<p style="text-align: center;">ディプロマ・ポリシー</p> <p>【卒業認定・学位授与方針】 学校現場の課題に応えられる実践的指導力のある教員を養成するために、次の知識・技能・態度を身に付けた者に学士(教育学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員としての豊かな人間性と社会性、幅広い教養と知性を持ち、自己研鑽を積む態度を身に付けている。 2. 子どもへの教育的愛情と、教員としての使命感、責任感、倫理観を身に付けている。 3. 幼児期から児童・青年期における発達や特性を踏まえた児童・生徒への理解に関する知識を身に付けている。 4. 教科や教職に関する専門知識と技能を身に付けている。 5. 教育に関する理論と方法を活用し、教育実践を展開する基礎的能力を身に付けている。 6. 学校現場における現代的課題に対応した教育活動を構想することができる。 7. 学校における組織的な取り組みを理解し、学校関係者(保護者・地域住民・同僚教員・管理職など)と連携・協働する態度を身に付けている。 	<p style="text-align: center;">カリキュラム・ポリシー</p> <p>【教育課程編成方針】 教育学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)で掲げた5つの能力(幅広い知識、専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、コミュニケーション能力)を身に付けさせるため、教養教育科目及び専門教育科目を体系的に編成する。</p> <p>【教育課程実施方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己確立した社会人としての教員を養成する学修 知性と良識を備え、自己の判断基準や価値基準に基づいて自律的に行動できる社会人としての教員を養成するため、幅広い基礎的な学識を提供し、仲間との交流を通じて思考力を涵養する科目を主として1年次に配置する。 2. 学校教育についての理解を深める学修 校種や教科などの個別領域の学びをより効果的にするために、教育制度の概要を理解し、それぞれの学生が目指す校種や教科が教育課程上どのように位置づけられるのか、学校とは何か、子どもとは何かを、幅広い視野をもって考える科目を主として2年次に配置する。 3. 教員としての専門知識とその実践 学生がより現実的な教員像に到達できるように、1～2年次までに学んだことを土台にして、小学校や中学校などの校種独自の科目についての専門的な知識、その教授方法の修得、さらにはこれら二つを組み合わせた教育実践という三つの段階を効果的に学べる科目を主として3～4年次に配置する。 4. 現代的教育課題に挑戦する学修 これからの学校教育が必要とする新しい知識や技量の獲得に、的確に対応するための科目を先進的教育科目と総称し、各段階の学習過程に配置する。 5. 俯瞰して「比較」する視点を備えた教員を養成する学修 個人のみでは解決が困難な教育問題に、同僚とともに取り組むときに必要な、自己と他者の意見を客観的に比較する態度や、自らの実践を言語化し説明する能力を養う科目を設定する一方で、義務教育全体を俯瞰し検討できるよう、複数の教員免許の取得が可能な科目配置を行う。 	<p style="text-align: center;">アドミッション・ポリシー</p> <p>【入学者受入れの方針】 教育学部では、義務教育段階の諸学校の教師を養成することを目的としており、専門職としての教師を目指す熱意にあふれ、仲間と協力しながら専門的能力・技能を伸ばしていける以下のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育を通じて、地域社会の発展に貢献しようという強い意志を持っている人。 2. 専門職としての教師を真摯に目指し、人を育てることの大切さと喜びを感じられる人。 3. 現代の教育課題を含む幅広い分野に興味・関心を持っている人。 4. 自己の考えをはっきりと表現し、他の人の考えをしっかりと受けとめることを通じて、他者と協働ができる人。 5. 高等学校における履修内容を理解し、教職を目指すために必要な学力がある人。 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜(前期日程) 大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 個別学力検査では、「国語」、「外国語(英語)」、「数学」を課し、問題の理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。</p> <p>一般選抜(後期日程) 大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 本学で課す「面接」により、意欲、理解力、思考の論理性、表現力等を評価し、多様な学生を選抜する。</p> <p>総合型選抜 【スポーツ実技型】 書類審査、実技(運動技能検査)及び面接を課し、意欲、理解力、思考の論理性、表現力、運動技能等を評価する。</p> <p>【理数型】 大学入学共通テスト、書類審査及び面接を課し、大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 「書類審査」及び「面接」により、意欲、理解力、思考の論理性、表現力等を評価する。</p> <p>特別選抜(学校推薦型選抜) 大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 本学で課す「面接」、「集団討論」により、意欲、理解力、思考の論理性、表現力等を評価し、多様な学生を選抜する。</p> <p>特別選抜(帰国生徒選抜、社会人選抜) 「小論文」を課し、課題の理解力、論理的な思考力、文章表現力を評価する。 「面接」を課し、志望動機、学修意欲を評価する。</p> <p>私費外国人留学生選抜 日本留学試験では、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 本学では、「国語」、「外国語(英語)」、「数学」を課し、問題の理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。 「面接」では本人の意欲及び適合度をみる。</p>

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
【学修成果の到達目標】		【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】	【求める資質・能力】
幅広い知識	<p>【学修成果】 考え方や立場の相違を受容し多様な価値観を尊重できるように、幅広く、様々な分野の知識を身に付け、さらに、新たな知識獲得のための学修を継続していきける能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 多文化・異文化に関する知識、社会と自然に関する知識の理解、リーダーシップ、生涯学習力</p>	<p>【学修内容】 知性と良識を備え、自己の判断基準や価値基準に基づいて自律的に行動できる社会人としての教員を養成するための幅広い基礎的な学識を修得するとともに、考え方や立場の相違を受容しながら、多様な価値観を尊重できるように、学修を継続する能力を身に付ける。</p> <p>【学修方法】 文献講読やICT機器の活用等を通して、幅広く様々な分野の知識を身に付ける。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート課題、期末試験等によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 基礎的・基本的な知識</p>
専門的学識	<p>【学修成果】 学校教育に関する豊富な学識を有し、教えられる人・支援される人に応じた教材選択や学習指導ができる実践的な指導能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 教育職員免許状、保育士資格、スポーツ指導者資格を取得できる能力やICTに関する技術、語学力、イベント等の企画力</p>	<p>【学修内容】 教育制度の概要を理解するとともに、校種独自の科目に関する知識やその教授方法、これら二つを組み合わせた教育実践に関する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 文献講読や実技演習等を通して、専門的分野の知識を身に付ける。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート課題、期末試験等によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 指導能力を身に付けるための学力的基盤(思考力、想像力、鋭い言語感覚、国語を尊重する態度、多面的・多角的な見方・考え方、表現力、構想力、創造力、鑑賞力、基礎体力、基礎的運動技能)</p>
問題発見・解決力	<p>【学修成果】 教育の現場で人を教えたり、支援する際に、個性や課題解決能力を生かす指導法や教材について、論理的に思考して開発する能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 情報収集力、分析力、課題発見力、思考力、指導法や教材の開発力</p>	<p>【学修内容】 人を教えたり、支援したりする人材をめざす学生のための実践科目を通して、個性や課題解決能力を活かす指導法や教材について論理的に思考して開発する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 現代的教育課題を扱う授業や問題解決型の授業で得た知見を基に、教育実習や体験活動などの機会を利用しながら、実社会で求められる問題発見・解決力を培う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート課題、期末試験等によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力 主体的に学修に取り組む意欲・態度 必要な情報を収集、加工し、相手を考えて発信する能力及び情報機器の基本的操作能力</p>
社会貢献力	<p>【学修成果】 人を教えたり、支援することが人格形成や人生設計に関わることを自覚し、使命感や責任感を持って行動する能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 教師・指導者としての倫理観や自己管理に関する理解</p>	<p>【学修内容】 子どもたちとふれあい、興味・関心を抱かせるための活動に関わることで、人を教えたり、支援したりすることが人格形成や人生設計に関わることを自覚し、使命感や責任感を持って行動する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 「子どもとのふれあい体験」等におけるイベントやワークショップ等の企画運営を通して社会貢献力を培う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 レポートの内容を通して評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 社会の発展に寄与する態度を養うために必要な「公共心」や「倫理観」 社会奉仕の精神、他者への思いやり 健康の保持増進のための実践力</p>
コミュニケーション能力	<p>【学修成果】 円滑な人間関係を構築する能力や外国語でのコミュニケーション、メディア・リテラシー、コンピュータ活用などの情報収集・分析・発信する能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 他者理解力、ICT活用技術、外国語運用能力、プレゼンテーション技術、表現力</p>	<p>【学修内容】 円滑な人間関係を構築する能力や外国語でのコミュニケーション、メディア・リテラシー、コンピュータ活用などの情報収集・分析・発信する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 グループワークや教育実習などを通して、様々な学生、児童・生徒等とのコミュニケーション能力を培う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート課題、期末試験等によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする能力</p>